

健康 Q&A



教えていただきました



医学博士
古嶋 博司

Q.大腸がん検診は 受けた方がよいでしょうか？

A. がん検診には、「胃がん」「乳がん」「肺がん」「子宮頸がん」「前立腺がん」と並び「大腸がん検診」があります。最近ではその受診率も上がっていますが、まだまだ未受診の方も少なくありません。

大腸がんの罹患数および死亡数は、年々増加の一途を辿っています。その死亡率は、男性では全がん種の第3位、女性では第1位となっています。また、大腸がんは早期発見がとても重要で、早期発見ができればほぼ手術で治すことができます。しかし、進行すれば治癒は難しくなるため、早期発見のための検診がとても重要なのです！

大腸がん検診の主役は「便潜血検査」です。この検査は大便の中の微量血液成分を「免疫学的測定法」という方法で測定します。これで陽性の場合には大腸内視鏡検査を考慮することとなります。ただ、仮に便潜血検査で「陽性」になったからといって、すぐにがんであることが確定したわけではありません。検査で陽性となる確率は5%程度ですが、一方で国民全体における大腸がんの有病率は0.2%ですので、陽性の場合に本当のがんである割合「陽性的中率」は3~6%くらいと考えてください。つまり便潜血が陽性となっても、その多くががん以外の要因によるものであるということです（悪性ではない大腸ポリープなど）。一方で検査結果が陽性の方ががんである可能性は、陰性の人と比べると33~58倍と計算されます。がんの可能性は低いものの、陰性の人に比べるとリスクが高いと理解しておくべきでしょう。また、この検査はがんが進行するほど陽性率は高くなります。標準的な検査（2日法）の場合だと感度は85.6%、早期がんでは61.3%でした。つまり早期がんでの発見は、進行がんに比べると7割程度の感度に落ちてしまうということです。ただし毎年検査を行うことで見落としの割合を減らしていくことができます。

皆さん、大腸がん検診を有効に利用して、大腸がんの早期発見につとめてください。

内科・循環器内科 ふるしまクリニック



診療科目／内科・循環器内科
診療時間／月・火・木・金曜日 9:00~12:30、15:00~18:00
水・土曜日 9:00~12:30
休診日／日曜、祝日
所在地／中央区姥ヶ山5-6-20
電話／025-257-7070

ふるしまクリニック